

# 第105回 全国高等学校野球選手権大会

## 西東京大会 2回戦

2023年7月13日(木)

| 球場 | 小野路GION  
| プレイボール | 10:00  
| ゲームセット | 12:57

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
神代	3	1	5	5	0	0	0	0	0							14
井草・大泉・田柄	3	6	4	0	0	0	0	0	0							13

先攻	神代	後攻	井草・大泉・田柄
投手		投手	熊切 鬼塚 安孫子
捕手		捕手	青木(琉)
本塁打		本塁打	
三塁打		三塁打	須藤
二塁打		二塁打	青木(大)

備考

【二回戦】



### 2023 夏

#### 田柄 新内一之介選手

## 一時は選手1人見返したい

五回表2死三塁、田柄の守り。中堅手の新内一之介(3年)は、ふわりと上がった打球に向かって懸命に走った。「とれる」。手を

伸ばすと、球はグラブに取まった。ピンチを切り抜けた。

入部当初から、部員は9人そろわなかった。草が腰の高さほどまで伸びたグラウンド。金属が腐食して使えない練習器具。限られたスペースで、筋トレやティーパーティングなど、こつこつと積み重ねた。

昨秋から部員はマネージャ1の平子聖奈(2年)と2人だけになった。同級生から「続けるなんて無理じゃね?」と言われることもあったが、「最後までやり抜いて見返したい」と心に火がついた。

その熱意が「大人」を動かした。志波勇太郎監督らの働きかけによって、バッテリーマシンが設置され、自分たちで草を刈ったグラウンドには新しい土を入れてもらった。自信を持って勧誘した1年生5人とともに連合チームの一員として、この夏の大会に臨んだ。

この日は、苦手な守備でも、何度もフライを捕球した。大事な場面で球に追いつけたのは、1人でも続けた練習の成果。そう思うと、うれしかった。

勝利には1点及ばなかったが、涙はなかった。「いつか後輩たちが単独出場できたら、『自分は選手1人の時もあったんだよ』と自慢したいですね」

|| 小野路GION (藤田大道)



将来性あふれるピッチングが光った  
1年生 鬼塚ノエル



バッティングとピッチャーのリードでセンスを発揮  
1年生 青木 琉人

### <顧問よりご挨拶>

春は都大会でも延長戦を制して田柄高校史上初の3連勝。しかし、夏は1点差での2回戦敗退となりました。しかし、経験や部員不足なチームを3年生部員が支え、田柄野球部の明るい未来を描くことができる試合でした。また1からのスタートですが、教室でもグラウンドでも「明るく前向きに挑戦」をモットーに頑張らせていきたいと思えます。そして来年は、学校にもっと明るい話題をお届けできるよう、頑張ります。学校関係者の皆様、本当にありがとうございました。